

平成 30 年度 CDI 招聘外国人研究者

フランク・M・ムバゴ氏講演会

Mr.Frank.M.Mbago

「タンザニアにおける有用植物の多様性と危機」

タンザニアにおける薬用・食用植物やスパイスなどの有用植物の多様性について紹介するとともに、開発プロジェクト、人口増加、調査不足などによる危機について講演する。

Diversity of useful Plants species in Tanzania (Medicinal, Wild food and spices) and the threat (Impact of Development projects, Population increase and research gaps etc.

日時 平成 31 年 3 月 18 日 (月) 14:00 ~

Date: 18 March 2019 14:00

場所 宇都宮大学峰キャンパス 4B51 教室

Place: 4B51 classroom, Mine Campus, Utsunomiya University

お問い合わせ：宇都宮大学産学イノベーション支援センター

CDI 管理室 TEL 028--689-7006

※この講演は、英語で行われます。This lecture will be held in English.

※ご参加の際は、煙草臭や化学香料（香水・柔軟剤・化粧品）などの化学物質を控えてくださるよう、ご配慮ください。

When participating, please consider decreasing chemical substances such as tobacco odor and perfumes.



Mr.Frank.M.Mbago

(フランク・M・ムバゴ氏)

1988 年より、タンザニア・ダルエスサラーム大学で Herbarium Curator を務める。タンザニアの植物が集結しているハーバリウムの責任者であり、タンザニアに存在するほとんどの植物を同定する能力を有した屈指の植物学者。

鉱山、ダム、道路等のインフラ開発に関連した植生調査のコンサルタントや調査を多数手がけている。2006 年からは、IUCN Red Listing of Threatened plant species の委員でもある。